

ご挨拶

立憲主義を守るため地域から訴え続けます。

参議院選挙、東京では野党が議席の半分を守りましたが、全国では「改憲勢力」が3分の2に達してしまいました。練馬区議会でも「安保関連法案に反対する意見書案」を提出するなど、私たちは頑張っています。

区政は私たちの生活に最も身近な政治です。だからこそ、権力の暴走を食い止めるべく、地域の中で声を聞き、議会でしっかりと訴え続けていきたいと思えます。

岩瀬 たいし



1 面 50 年ぶりの議長不信任案提出

2・3 面 2016 年一般質問、読者の KOE

4 面 こらむ、お知らせ

い・わ・せ・ら・て
版

練馬区議会議員 岩瀬 たいしの議会報告



岩瀬 たいし

●プロフィール 1977年生まれ。
早稲田大学法学部卒業。同大学院経営学
修士号(MBA)取得。三井化学(株)勤務後、
国際協力機構(JICA)等の専門家として、全
世界20ヵ国以上で地域開発事業に従事。
妻、1歳の息子、義母と大泉学園町在住。
第18期練馬区議会議員に初挑戦で当選。
市民の声ねりま副代表
●文教児童青少年委員会
●清掃・エネルギー等特別委員会

50年ぶりの議長不信任案提出、これでいいのか練馬区議会

定例会の最終日、議長への不信任決議案を4会派共同で提出しました。
練馬区で議長に対する不信任案が提出されたのは1964年以来となります。

なぜ50年以上行われなかった不信任案を提出したか、今回の件は、民主主義の根幹の一つである
「議会での発言の自由」が奪われてしまうかもしれないという危機感があったからです。

共産党と公明党の議論に端を発した一連の流れの中で、議会運営上、あってはならない事が起こりま
した。二つの党が異なる事実を主張する中で、議会として事実を調査することなく、多数決でどちらが正し
いかを決してしまい、共産党の議員に対して発言取り消しを迫りました。これは自由な議論を軸とする議
会では、許してはならない事です。

与党は「事実関係を丁寧に検証した」と主張しています。しかし、それは採決の後であり、検証された事
実も問題の一部でしかありません。こうした運営が認められるのであれば、どんな発言も多数決によっ
て取り消されてしまうことにつながります。

この間、議長に対して議事のやり直し等を求めましたが、受け入れられなかったため、記者会見を行い、不信
任案を提出しました。議会で否決されてしまいましたが、このようなことが繰り返されてはならないという意思を
明確に示すとともに議会の状況を多くの方に知って
いただけたということに大きな意味があったと思えます。



6月17日、練馬区議会 4会派 共同記者会見

マイノリティが暮らしやすい社会のために

2016年 一般質問

今回の議会、私にとっては年に一度の一般質問にあたり、いつも以上に重要な議会となりました。

一般質問のテーマは、議員になる前から力を注いできた「マイノリティの権利保障」とし、4項目を取り上げました。

1. 性的マイノリティの権利保障
2. 外国籍住民の権利保障および多文化共生社会の実現
3. 待機児童対策
4. 大江戸線の延伸について

「マイノリティの問題」、これは一部の方だけの問題ではなく、社会全体の話であり、自分たち自身の話です。子育てをすること、年を取ること、自分自身が様々な意味で弱い立場の当事者になることもありまじ、固定的な「誰か」の話ではありません。「マイノリティが住みやすい社会こそが誰にとっても住みやすい社会である」そんな思いを区議会の場で訴えました。

特に、性的マイノリティと外国人の権利保障については、議会でも取り上げられる機会は少なく、一般質問で議論するのは、昨年の私の質問がほぼ初めてでした。

一般質問の様子は区のウェブサイトでも原稿と動画が公開されていますので、ぜひご覧ください。

性的マイノリティの権利を守るために、行政が正しい情報を提供すべき

性的マイノリティの問題については、全体的に前向きな答弁を引き出せました。特に、質問の中で求めた、教職員向けの性的マイノリティに関する研修プログラムの実施については、学校として組織的に取り組むことを明言しており、大きな前進でした。また、男女共同参画センター「えーる」などを活用した性的マイノリティに関する情報コーナーの設置や、横浜市で実施されている、当事者や支援者の交流会の開催についても、肯定的な回答でした。

ヘイトスピーチ対策法が成立、区も差別禁止のための実効的な取り組みを

先日制定された通称ヘイトスピーチ対策法を受けての区の政策、そして、練馬区の多文化共生事業への取組について質問しました。特に「ヘイトスピーチ対策法」では、対象者を「本邦に適法に居住するもの」に限定しているものの、練馬区からは立法主旨と附帯決議を踏まえ、対象となる方の範囲についても十分配慮して事業を実施するという肯定的な回答を引き出すことができました。

岩瀬たけしの基本政策

- 「平和と人権」「いのちとくらし」の区政を！
- 高齢者、障がい者、性的少数者、外国人など、多様性尊重の練馬へ！
- 「女性の活躍」のためにも、男性が地域と家庭で輝くまちへ！
- 子どもの個性を尊重し世界で活躍する人材を！

こんなにひどい！区議会傍聴記

先ず、一言「下品」 ↑長男のことば
十数年前に傍聴した時も涙出そうなくらい酷かったけれど、今回は本当に泣いた。圧倒的与党多数という事もあるけれど、あの同調圧力のような雰囲気はもう傍聴しなくなる。野次の酷さ。

討論が終わり席に向かう議員に向かって『ヘラヘラ笑ってんじゃねえよ』

討論するとき番号「13番」と議長が言えば『十三日の金曜日じゃねえの』

討論終わった議員に向かって

『〇〇新聞に記事売んなよ』

挙げ句の果てには、休会中、後ろを振り返り、傍聴席をずっとにらみ続ける議員も。私のメモには野次飛ばした議員の名前しつかり書き留めてあるよ。野次を飛ばす意味全くわからんです。

初めて傍聴をした長男

「うーん、議会って結局意味ないところだね。小学生以下のレベルだった（笑）」
そう言わせてはいけないよ。

（大泉町在住の区民の方より）

読者の
KOE

議会を変えるには、私たち区議会議員だけではなく、皆さんがしっかりと監視することが一番です。ぜひ傍聴に来てください！



市民の声ねりまでは、議会のたびに「傍聴ツアー」を企画しています。
ぜひお気軽にご参加ください！
読者の KOE 欄では、皆さんからの「声」を募集しています。
お問い合わせ・宛先はこちら⇒ IwaseteNerima@gmail.com



待機児童ゼロへ、質を維持した保育所の拡充を！

練馬区は今年4月までに新しい基準での待機児童をゼロにすることを目標としていましたが、実際には166名の児童が待機となつてしまいました。このことを受け、待機児童となつた方への対策や来年度へ向けた取り組みを問いました。

練馬区の回答は待機児童が発生したことについては、自らの責任や原因を認めることなく、国に押し付けるものもあり不十分でした。また、待機児童の範囲についても、費用負担が厳しいことを理由に認証保育所に預けられなかった方を待機児童から外してしまうなど、決して各家庭に寄り添ったものとは言えません。ただ、今年、待機児童となつてしまった方への対応については、小規模保育の開設前倒しなども含んでいました。今後も質を維持した保育所の拡充をしっかりと訴えます。



2年目の一般質問

大江戸線延伸は大切だが練馬区の財政負担のあり方もしっかり考えるべき

大江戸線については、東京都が優先的に整備すべき路線に挙げたのに続き、国の審議会も事業化に向けた積極的な位置づけを示しました。これは歓迎すべき動きです。しかし、鉄道整備で練馬区がいくら支払うのかといった財政負担の問題や新駅周辺をどのように開発するのかなど整理されなければならぬ課題も数多く残っています。そこで、こうした課題に対する区の認識を確認しました。

練馬区の回答は、平成29年度までに約36億円を基金として積み増すとともに、更なる増額について検討することとした。まちづくりについては、終点駅となる大泉学園町地域では、地域の方々と今後も話し合いを進めていくとのことでした。

大泉町から大泉学園町にわたる大江戸線沿線地域は、低層の落ち着いた住宅街を基本とし、風致地区としての規制の下で練馬の貴重な住環境と景観を形成してきた地域です。安易な開発に流れて、景観や街の魅力が失われることのないよう、地域の皆さんと、ていねいな合意形成をはかりながら、まちづくりを進めていくようこれからも訴えていきたいと思います。



市民の声ねりま 中村哲医師講演会



当日は1400名の方にお越しいただき、大ホールはほぼ満席。



6月10日、練馬文化センターの大ホールにて、市民の声ねりま主催『中村哲医師講演会』を行いました。

中村先生は医師としてアフガニスタンに赴任されましたが、人々が抱える問題には医療だけではなくと考え、30年以上にわたり、灌漑事業などに力を注いできました。

先生のお話で、特に印象に残ったのは集団的自衛権に関するものでした。「武器を持つこと、見せびらかすことで解決できることは少ない。むしろ、武器を持つことが問題を生むことの方が多い」ということ。そして、先生自身の活動での思いとして「私は誰の心にも良心があると信じている。その一人ひとりの良心に働きかけて活動をしている」という言葉でした。

静かで、朴訥な話し方の中に感じる先生の強さに圧倒されるとともに、私自身も勇気をいただいた、貴重な経験でした。



市民の声 ねりま

市民の声ねりまは…

一人ひとりの市民の思いをつなぎ、声を区政に届けます
めざすものは「ともに生きる ともにつくる」まちと政治

池尻成二と岩瀬たけし、二人の議員を先頭にがんばっています！

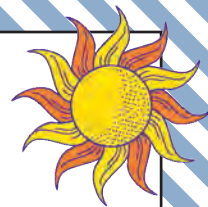
市民の声ねりまニュース「いぶき」購読料1,000円(年4回送料込)

〒178-0063 練馬区東大泉5-6-9 (03-5933-0108)



◆こらむ◆ 東京レインボープライド 2016

・LGBTとは... レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(心と体の性の不一致)の頭文字をとった総称です。
・東京レインボープライドとは...LGBTをはじめとするセクシュアル・マイノリティ(性的少数者)が差別や偏見にさらされることなく、より自分らしく、前向きに生きていくことができる社会の実現を目指すイベントの総称です。



代々木公園で行われたレインボーフェスタに参加しました。フェスタでは、全国のLGBTや支援者の方がステージでパフォーマンスを行うとともに支援する団体や企業、大使館などが多くのブースを出していました。歩くのに苦労するほどの方々が、おもいおみのスタイルでフェスタを楽しんでいる姿に感動しました。

私自身、海外にはLGBTであることをオープンにしている親しい友人たちは何人もいますが、LGBTに一見「寛容」なようで、そのアイデンティティを前面に出すことがタブー視されがちな日本では、カミングアウトしていない友人が大半です。

ある当事者の方が「LGBTの方への差別や偏見というのは当事者だけの問題ではなく、社会全体の問題であり、だからこそ、みんなで解決しなければいけない」と仰っていましたが、私も「多様性が認められる社会こそが誰にとっても住みやすい社会」だと信じており、まさにこういった取り組みが必要だと再認識しました。

今回の出会いを参考に、練馬においても、地域の中でのLGBTの家族や友人を結びつけるような、そんな取り組みを実現できるよう、活動したいと思います。

事務所開きのご案内

新事務所を開設、お気軽にお越しください！

8月25日(木)の13時から17時まで、事務所開きを行います。
ぜひどなたでもお好きな時間にお越しください！
地域に根差した事務所となるよう、今後さまざまなイベントを企画したいと思います。

〒178-0061

練馬区大泉学園町3-1-32 T&K大泉学園205号

TEL/FAX: 03-5935-4071

E-mail: lwaseteNerima@gmail.com

◆通常開所日 毎週火曜・木曜 10:00～17:00



岩瀬たけし



- 朝の駅頭 毎週3回(水～金)朝7時～8時に大泉学園駅で活動報告を行っています
- かわら版 年4回の区議会ごとに作成し、区政報告とイベント等をお知らせしています
- メルマガ 日々の活動について、2週間に1回程度、配信を行っています
- オフィシャルサイト <http://iwasetakeshi.net/>
岩瀬たけしの政策やブログ、過去のかかわり版もご覧いただけます

